

石狩市営プール整備基本構想

令和7年6月

石 狩 市

目 次

第1章 基本構想の概要	1
1-1 背景と目的	1
1-2 基本構想の位置付け	1
第2章 プールを取り巻く現況と課題	2
2-1 石狩市の現況	2
2-2 現施設の現況	7
2-3 アンケート調査	22
2-4 ヒアリング	27
2-5 プールを取り巻く課題	31
第3章 再整備に関する基本的な考え方	34
3-1 基本方針	34
3-2 市営プールに求められる機能の想定	35
3-3 建設候補地の考え方	36
3-4 今後の方向性について	42

第1章 基本構想の概要

1-1 背景と目的

本市の市営プールは「石狩市民プール」と「石狩市 B&G 海洋センタープール」の2か所があります。

石狩市民プールは、市民の健康の増進を図るため、及び市民の交流の場を提供する施設として設置され、また、石狩市 B&G 海洋センタープールは、海洋性レクリエーションを軸とした青少年健全育成活動や地域住民の方々の健康づくりを目的として設置された施設です。

両プールは、こどもをはじめ幅広い年代の市民に利用されてきましたが、ともに築 30 年以上経過し、老朽化が著しくなっています。

そのため、市内市営プールの再整備のため、その基本的な方針となる「石狩市営プール整備基本構想(以下、基本構想という)」を定めることとします。

石狩市民プール



石狩市 B&G 海洋センタープール



1-2 基本構想の位置付け

基本構想は、本市の最上位計画である「第5期石狩市総合計画」に即するとともに、「石狩市都市整備骨格方針」、「石狩市公共施設等総合管理計画」等の関連計画を踏まえるものとします。

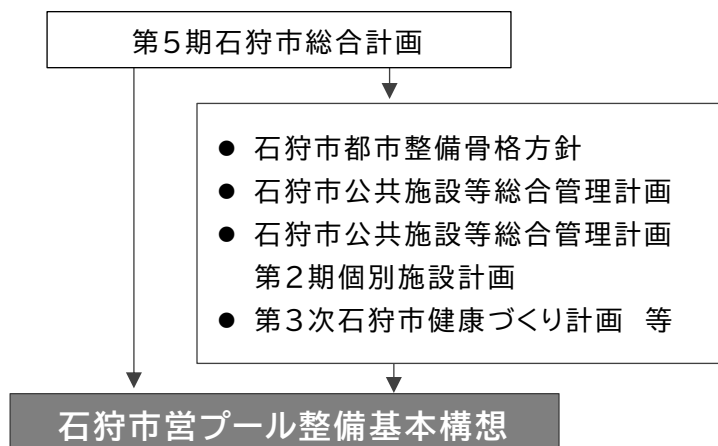


図 基本構想の位置付け

第2章 プールを取り巻く現況と課題

2-1 石狩市の現況

(1) 気候

本市は、海岸線が長く、日本海に面し、平野が広がる平坦な土地であり、日本海側の気候に属しています。

平均気温は9℃前後で、暖かい対馬海流の影響で北海道の中では高めの気温となっています。7月、8月の平均気温は20℃以上となり、令和6年(2024年)の8月の最高気温平均は27.4℃となっています。

風は、春から夏は南から季節風が強く吹き、冬期は北西風が強く吹きます。

降水量は年間1,000mm前後で、7月から8月、また11月に多くなり、最深積雪量は平均約1.3mとなります。

表 石狩市の気候

	気温℃			降水量	最深積雪	平均湿度	最大風速	日照時間
	平均	最高	最低	mm	cm	%	m/s	h
R3(2021年)	8.6	13.5	4.2	938.5	123	83]	14.7]	1803.2]
R4(2022年)	8.5	13	4.1	1246.5	165	87	16.4	1786.2
R5(2023年)	9.3	13.9	5.1	995.5	103	84	13.9	1807.9
R6(2024年)1月	-3.6	0	-7.7	134	91	85	11.3	66.3
2月	-3.7	0.1	-7.9	92	109	82	11.4	87.7
3月	-0.9	2.9	-5.6	44.5	96	76	9.3	161.2
4月	8.6	14.4	4.1	36.5	37	79	9.7	191.9
5月	12.4	17.9	7.4	44	0	79	9.7	204.3
6月	17.3	23.2	12.8	44.5	0	87	4.6	187.8
7月	21.6	26.8	18.1	131.5	0	90	8.2	173
8月	23.2	27.4	20.1	129.5	0	92	4.8	135.3
9月	17.9	23.3	12.6	68	0	84	9.2	209
10月	12.3	17.2	6.7	141	0	84	8.7	153.9
11月	4.8	8.8	0.4	112.5	3	81	9.3	86.5)
12月	-3.4	-0.5	-7.2	84.5	44	80	11.2	64.9

※「) 」: 準正常値、「] 」: 資料不足値

資料: 気象庁

(2)人口

①人口推移と将来推計

石狩市は平成 17 年(2005 年)に、旧石狩市・旧厚田村・旧浜益村が合併し、現在の市域となりました。

本市の人口は、国勢調査によると、平成 17 年(2005 年)の 60,104 人から減少傾向にあり、令和 2 年(2020 年)に 56,869 人となっています。今後も人口減少の進行が予測され、令和 22 年(2040 年)には 47,589 人と 5 万人を下回る推計となっています。

年代別にみると、15 歳未満の人口は、人口に占める割合は約 10%で推移すると予測されていますが、令和 17 年(2035 年)には 4,838 人と、令和 2 年(2020 年)の 6,821 人から 2,000 人近く減少する予測となっています。また、15～64 歳についても人口及び人口に占める割合は減少し、65 歳以上の人口は約 19,000 人前後で推移し、65 歳以上の人口が占める割合(高齢化率)は増加すると予測されています。

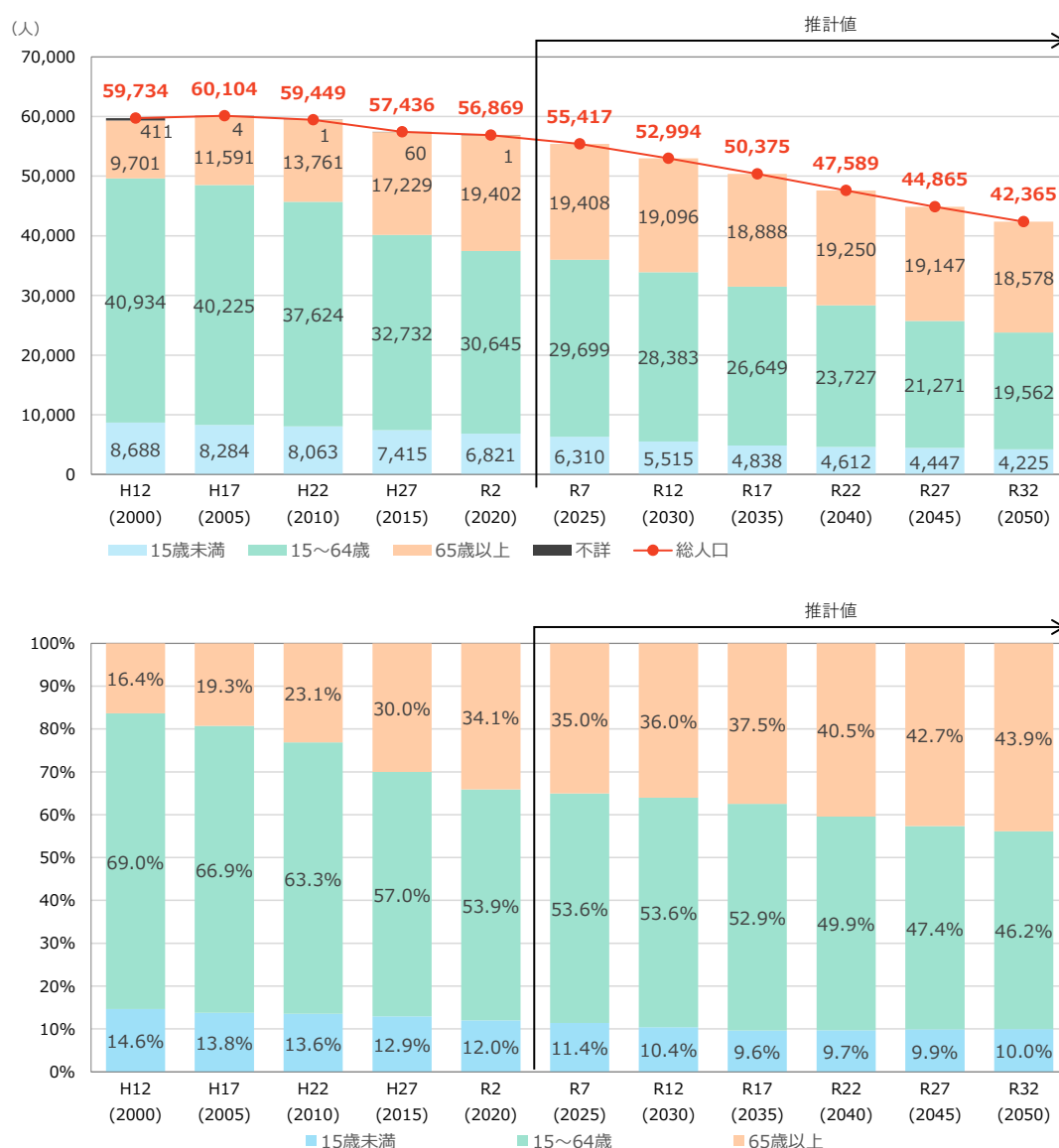


図 石狩市の人口推移・将来人口の推計

資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(令和 5 年 12 月推計)」

②地区別人口の推計

地区別に将来人口の推計を見ると、旧石狩市の人口は、令和 32 年(2050 年)には、40,932 人と令和 2 年(2020 年)から 1 万人以上減少することが予測され、厚田区(旧厚田村)は 1,628 人から 929 人と 1,000 人を下回り、浜益区(旧浜益村)は 1,111 人から 498 人と半分以下に減少すると予測されています。

旧石狩市においては、65 歳以上の人口は、令和 7 年(2025 年)に 18,084 人とピークを迎えて以降減少し、令和 32 年(2050 年)には 17,890 人と約 18,000 人前後で推移すると予測されます。また、15～64 歳の人口は、29,473 人から 18,940 人と 1 万人以上減少し、15 歳未満の人口は、6,659 人から 4,115 人と 2,000 人以上減少すると予測されます。

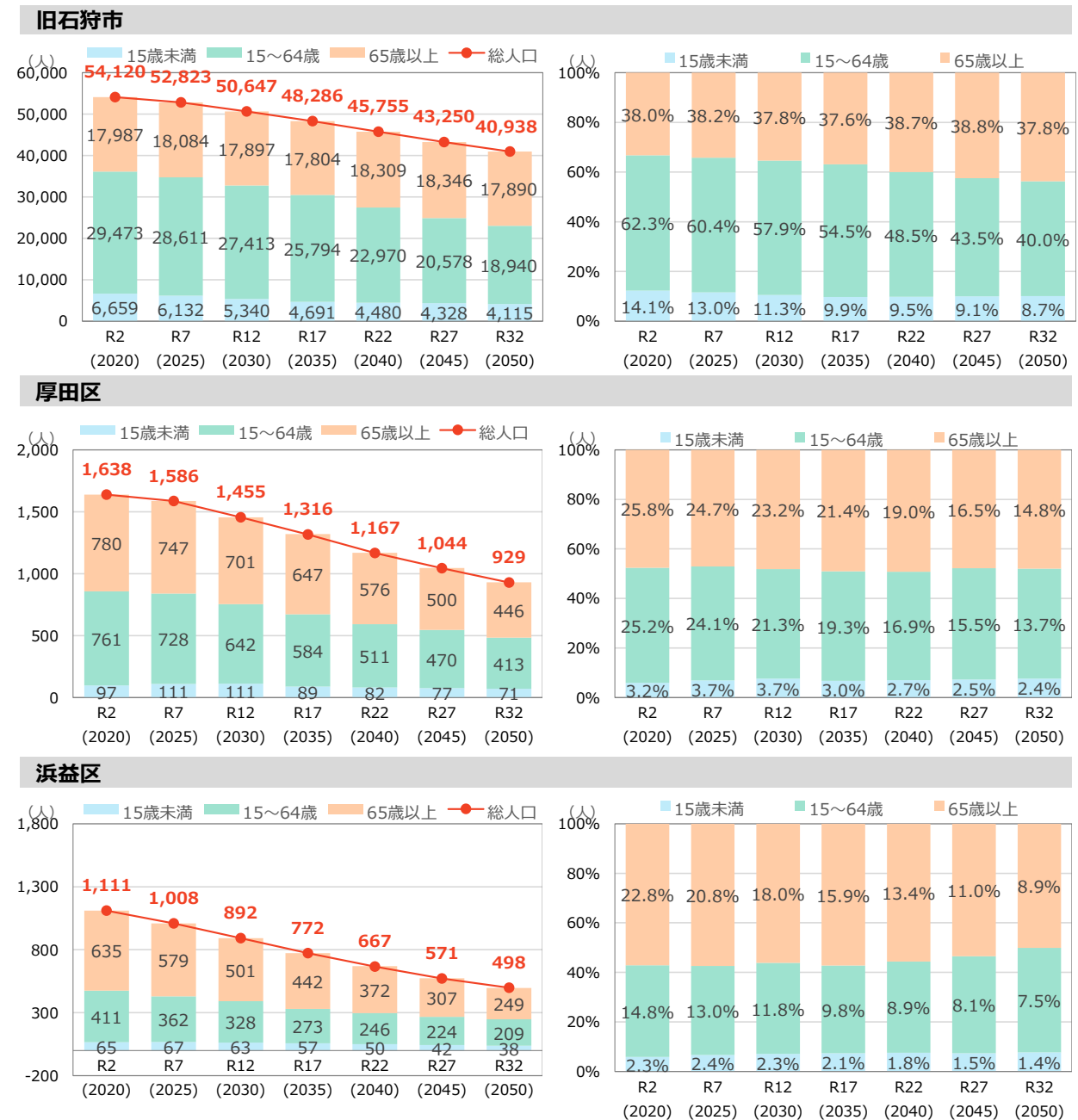


図 地区別将来人口推計

資料：国土交通省「国土数値情報(250m メッシュ別将来推計人口データ(R6推計))」

また、旧石狩市街地内の人口を見ると、樽川や花川南方面で、人口の集積が残るものの、現在の石狩市民プール、石狩市役所周辺における人口は減少することが予測されています。

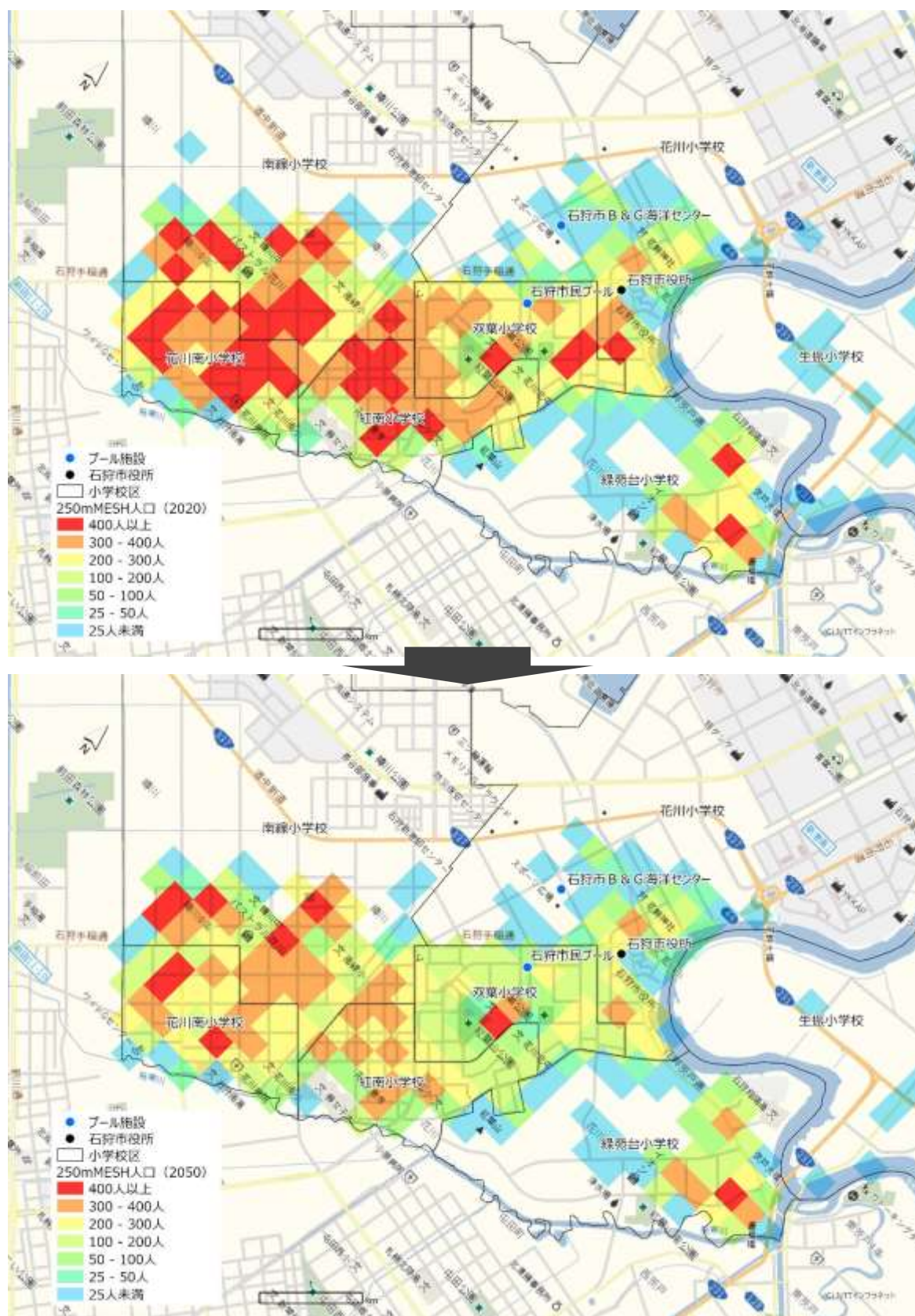


図 将来人口推計(石狩市街地)
資料:国土交通省「国土数値情報」

③児童数・学級数

本市における小学校の児童数は、ここ 10 年間減少傾向で推移しており、令和 6 年（2024 年）は 2,874 人と、平成 27 年（2015 年）の 3,419 人から、500 人以上減少となっています。

また、学級数も減少傾向で推移しており、平成 27 年（2015 年）の 130 学級から 112 学級へ減少しています。

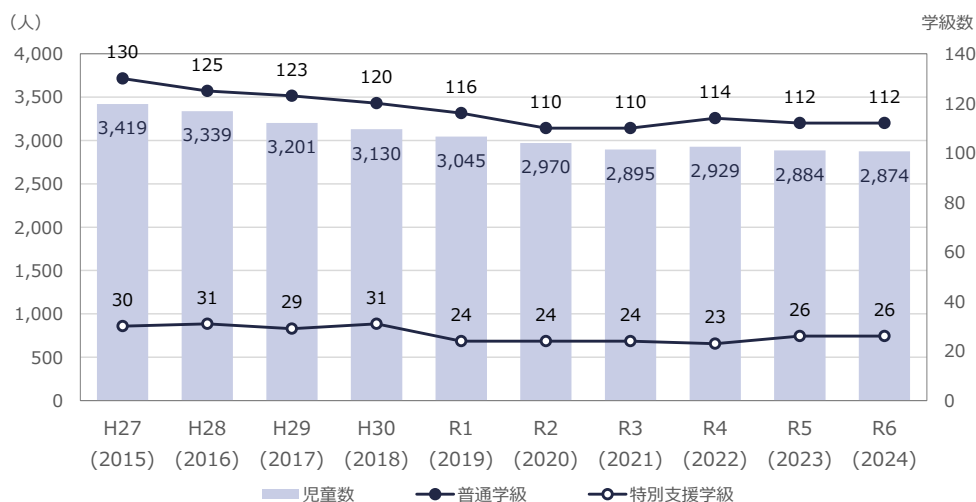


図 石狩市内の小学校児童数・学級数の推移
資料：石狩市教育委員会「市立学校児童生徒数一覧」

2-2 現施設の現況

(1) 施設概要

石狩市民プール及び石狩市 B&G 海洋センタープールの施設概要は、下表に示すとおりです。

表 石狩市民プール及び石狩市 B&G 海洋センタープールの施設概要

	石狩市民プール	石狩市 B&G 海洋センタープール
		
所 在	石狩市花川北 3 条 2 丁目 198 番地 3	石狩市花畔 337 番地 4
構 造・階 数	鉄筋コンクリート造・地下1階地上2階建	鉄骨ビニールシート貼上屋付・平屋建
建 築 年	昭和 62 年(1987 年)9 月 (令和 7 年 6 月現在 築 37 年 9 か月) ※石狩グランドプラザとして民間事業者が建設 ※平成 14 年(2002 年)7 月に本市へ移管	平成 4 年(1992 年)7 月 (令和 7 年 6 月現在 築 32 年 11 か月)
敷 地 面 積	1,995.60 m ²	9,970 m ²
延 床 面 積	1,752.20 m ²	1,828 m ²
供 用 期 間	通年(温水プール)	7月・8月
プ ー ル	・レーン: 25m×4 レーン、 こども用 1 レーン (デッキ設置時) ・水 深: 110cm~125cm、 こども用 60cm~75cm (デッキ設置時)	【25m プール】 ・レーン: 25m×6 レーン ・水 深: 110cm~120cm 【幼児用プール】 6.6×10m ・水 深: 50cm~60cm
その他機能	多目的ホール(2階) ・ホール A: 154.8 m ² ・ホール B: 68.8 m ² ・ホール C: 95.1 m ²	【併設施設(RC 造2階建)】 ・アリーナ : 853 m ² ・トレーニングルーム : 431 m ² ・ミーティングルーム : 61 m ² 
維 持 管 理	指定管理者制度による維持管理 (石狩市公務サービス株式会社)	指定管理者制度による維持管理 (公益財団法人石狩市スポーツ協会)

(2) 利用状況

① 石狩市民プール

石狩市民プールは通年利用できる温水プール施設であり、開館時間は 9 時 30 分から 21 時 30 分まで、休館日は毎月第一、第三日曜日と年末年始となっています。

入館料は一般 550 円(小中学生は 280 円、未就学児無料)で、時間制限は無く、石狩市民以外の方も利用できます。

こども(中学生以下)を対象に「キッズ(3～4 歳)(5～6 歳)」「ジュニアⅠ・Ⅱ」「育成Ⅰ・Ⅱ」と年齢・習熟度に応じたスクールを実施しているほか、大人(高校生以上)を対象に「モーニング」「ナイトⅠ・Ⅱ・Ⅲ」「水中運動」と多様なメニューを提供しています。

		9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時	20 時	21 時
月曜日	1コース					水中運動								
	2コース													
	3コース			モーニング 2・3	モーニング 4					ジュニアⅠ			ナイト 2・3	
	4コース												ナイト 1	
	5コース							Kids 5～6 歳						
火曜日	1コース					水中運動								
	2コース													
	3コース									ジュニアⅠ	ジュニアⅡ	育成Ⅰ・Ⅱ	ナイト 2・3	
	4コース													
	5コース							Kids 3～4 歳						
水曜日	1コース					水中運動								
	2コース													
	3コース			モーニング 2・3	モーニング 4					ジュニアⅠ	ジュニアⅡ	育成Ⅰ・Ⅱ	ナイト 2・3	
	4コース				モーニング 1									
	5コース							Kids 5～6 歳						
木曜日	1コース					水中運動								
	2コース													
	3コース			モーニング 2・3	モーニング 4					ジュニアⅠ	ジュニアⅡ	育成Ⅰ・Ⅱ		
	4コース												ナイト 1	
	5コース							Kids 3～4 歳						
金曜日	1コース					水中運動								
	2コース													
	3コース			モーニング 3	モーニング 4					ジュニアⅠ	ジュニアⅡ	育成Ⅰ・Ⅱ	ナイト 2・3	
	4コース													
	5コース							Kids 5～6 歳						
土曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース		モーニング 1	モーニング 2	モーニング 3									
	5コース													
日曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													

図 石狩市民プールの週間利用スケジュール(令和 6 年度(2024 年度))

注: 白枠(無印)は一般開放、休館日でない日曜日は一般開放

石狩市民プールの利用者数は令和３年度（2021年度）には約２万５千人、令和４年度（2022年度）は約３万６千人、令和５年度（2023年度）は約３万７千人、令和６年度（2024年度）は約３万５千人となっています。令和３年度（2021年度）は３度の休館期間（5/16～6/20、8/10～9/30、1/23～1/31）があったため、利用者数が少なくなっています。

一般利用が３割程度、教室等の利用者数が６割程度、団体利用は数％程度です。

月別の変動をみると、６月～９月が比較的多く、１～２月が比較的小さい傾向があります。

表 石狩市民プールの年度別利用者数

		一般利用	教室等	団体	合計
令和３年度 (2021年度)	人	8,327	15,183	1,453	24,963
	構成比	33.4%	60.8%	5.8%	100.0%
令和４年度 (2022年度)	人	10,219	23,323	2,665	36,207
	構成比	28.2%	64.4%	7.4%	100.0%
令和５年度 (2023年度)	人	11,331	23,191	2,084	36,606
	構成比	31.0%	63.4%	5.7%	100.0%
令和６年度 (2024年度)	人	11,337	21,251	2,137	34,725
	構成比	32.6%	61.2%	6.2%	100.0%

資料：「石狩市民プール利用状況報告書」

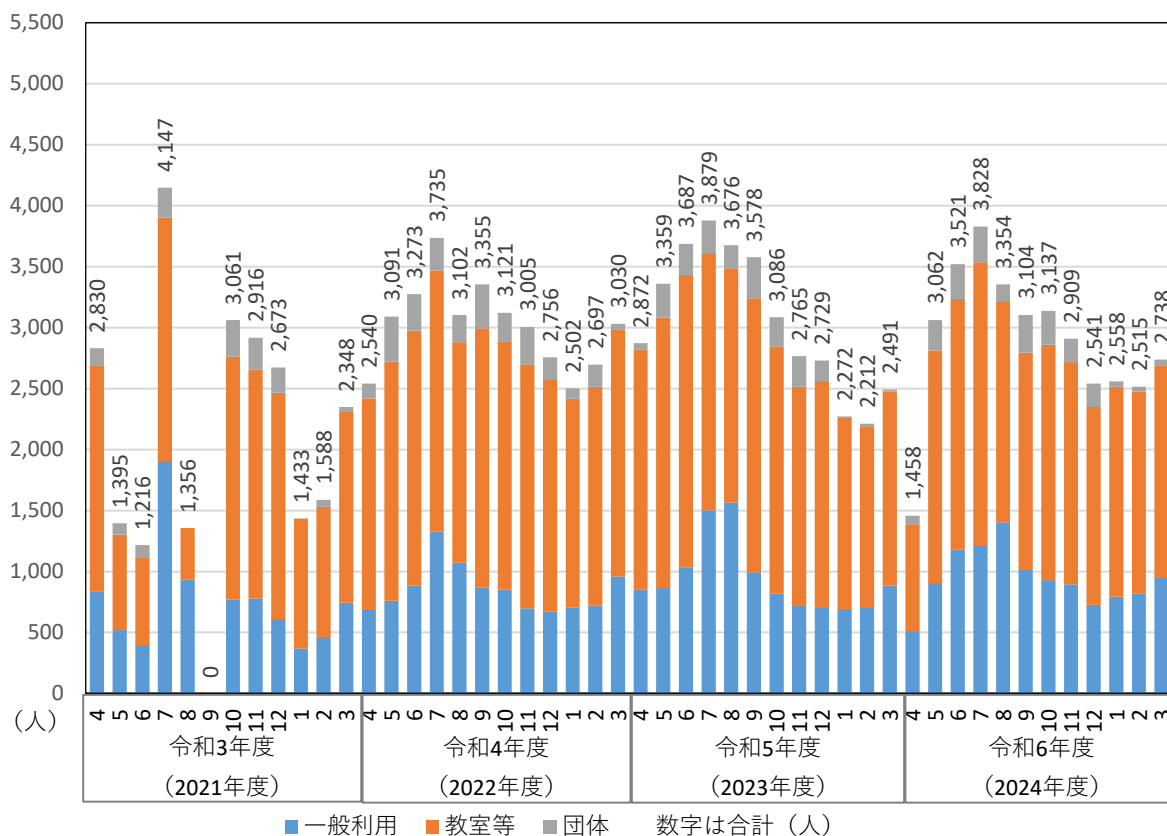


図 石狩市民プールの月別利用者数

資料：「石狩市民プール利用状況報告書」

令和 5 年度(2023 年度)の開館日平均利用者数をみると、一般利用は 64.0 人、教室利用は 66.3 人、団体利用は 4.3 人、合計で 134.6 人となります。教室利用のうち、ジュニアⅠ・Ⅱが多くなっています。

時間帯別にプール室にいる平均人数をみると、17 時が 21.3 人と最も多く、次いで 11 時の 15.9 人となっています。

表 石狩市民プールの令和 5 年度(2023 年度)開館日平均利用者数

利用区分		利用者数
一般利用		64.0
教室	モーニング 1	0.8
	モーニング 2	0.8
	モーニング 3	6.4
	モーニング 4	5.5
	水中運動	3.3
	ナイト	2.9
	短期教室	0.1
	キッズ 3 ～ 4 歳	1.3
	キッズ 5 ～ 6 歳	5.2
	ジュニアⅠ	16.1
	ジュニアⅡ	14.3
	育成Ⅰ	3.2
	育成Ⅱ	0.8
	幼稚園	5.6
	教室等計	66.3
団体		4.3
合計		134.6

資料:「石狩市民プール管理日誌」

表 石狩市民プールの令和 5 年度(2023 年度)開館日平均プール室人数

	11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00
プール室 人数	15.9	9.1	8.1	21.3	7.0	2.6

資料:「石狩市民プール管理日誌」

【多目的ホール】

石狩市民プールの2階には多目的ホールがあり、ホールA(154.8 ㎡)、ホールB(68.8 ㎡)、ホールC(95.1 ㎡)の3室を貸室利用することができます。3室は別個に使用することも、繋げて一体の空間として使用することもできます。

過去の利用実績をみると、月によって利用変動が大きいですが、月平均で約 27 件の申し込みがあり、月平均の総利用時間は 88 時間、一件平均の利用時間は 3.3 時間となっています。

令和 6 年(2024 年)の利用実績をみると、時間帯では午後の利用件数が最も多く、46%を占めています。利用室別の利用件数では、ホール C が最も多く 52%を占めますが、総利用時間ではホール C とホール B が同程度の総利用時間となっています。利用目的別の総利用時間をみると、「会議・打合せ」「式典・催し物」「空手」の割合が大きい傾向があります。

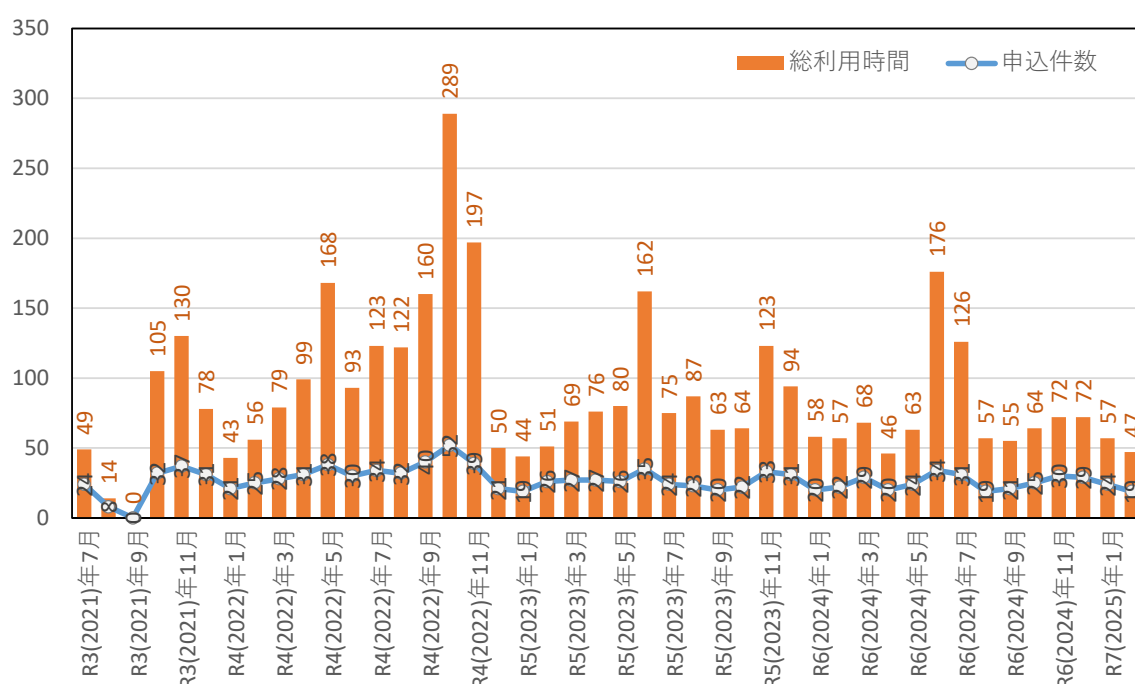


図 多目的ホールの月別の申込件数と総利用時間

資料:「石狩市公共施設予約サービス」実績データ

表 多目的ホールの令和 6 年(2024 年)1 月～12 月の利用内訳(時間帯)

時間帯区分	申込件数		総利用時間	
	(件)	構成比	(h)	構成比
午前	30	9.9%	80	8.8%
午後	140	46.1%	276	30.2%
夜	96	31.6%	222	24.3%
終日	38	12.5%	336	36.8%
合計	304	100.0%	914	100.0%

資料:「石狩市公共施設予約サービス」実績データ

表 多目的ホールの令和 6 年(2024 年)1 月～12 月の利用内訳(利用室)

利用室	申込件数		総利用時間	
	(件)	構成比	(h)	構成比
ABC 一体利用	0	0.0%	0	0.0%
AB 一体利用	14	4.6%	84	9.2%
ホール A (154.8 m ²)	69	22.7%	211	23.1%
ホール B (68.8 m ²)	63	20.7%	307	33.6%
ホール C (95.1 m ²)	158	52.0%	312	34.1%
合計	304	100.0%	914	100.0%

資料:「石狩市公共施設予約サービス」実績データ

表 多目的ホールの令和 6 年(2024 年)1 月～12 月の利用内訳(利用室)

利用目的	申込件数		総利用時間	
	(件)	構成比	(h)	構成比
体操	42	13.8%	69	7.5%
ダンス	74	24.3%	122	13.3%
空手	86	28.3%	209	22.9%
会議・打合せ	53	17.4%	241	26.4%
式典・催物	37	12.2%	212	23.2%
食事会	4	1.3%	16	1.8%
その他	8	2.6%	45	4.9%
合計	304	100.0%	914	100.0%

資料:「石狩市公共施設予約サービス」実績データ

②石狩市 B&G 海洋センタープール

石狩市 B&G 海洋センタープールは7月、8月の夏期のみ利用できるプール施設であり、開館時間は10時から20時30分まで、火曜日は15時から17時のみの開館となっています。なお、石狩市 B&G 海洋センター体育館(アリーナ・トレーニング室など)は通年利用できる施設であり、年末年始のみ休館日となっています。

入館料は一般200円で、午前・午後1・午後2・夜間という2時間ごと時間区分を跨いで利用する際は追加の入館料が必要となります。

花川小学校・緑苑台小学校の4～6年生のプール授業や認定こども園の授業で貸し切り利用があるほか、一部レーンを使った水泳教室が行われています。

		9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時
月曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
火曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
水曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
木曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
金曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
土曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													
日曜日	1コース													
	2コース													
	3コース													
	4コース													
	5コース													
	6コース													

図 石狩市 B&G 海洋センタープールの週間利用スケジュール(令和6年(2024年)7月第二週の例)

注:白枠(無印)は一般開放

石狩市 B&G 海洋センタープールの利用者数は平成 27 年度(2015 年度)には 6,000 人を超えていましたが、年々減少し、令和元年度(2019 年度)には約 4,600 人となり、その後令和 2 年度(2020 年度)から令和 4 年度(2022 年度)は新型コロナウイルス感染症の対策のため休館していました。

令和 5 年度(2023 年度)から利用を再開し、令和 6 年度(2024 年度)の利用者数は約 4,900 人となっています。

令和 6 年度(2024 年度)の利用者数をみると、利用時間帯では午後 2(15 時から 17 時)の利用が多くなっています。

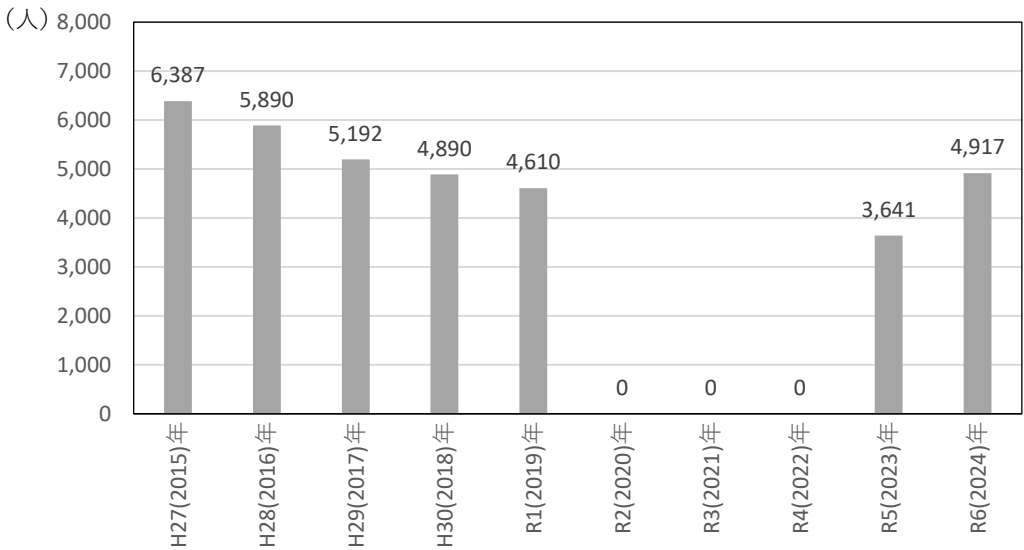


図 石狩市 B&G 海洋センタープールの年度別利用者数

資料：石狩市スポーツ協会資料

表 石狩市 B&G 海洋センタープールの令和 6 年度(2024 年度)利用者数内訳

		時間帯				合計
		午前	午後 1	午後 2	夜間	
区分	一般	77	65	80	76	298
	教室	12	44	69	150	275
	学校	0	173	977	0	1,150
	無料	290	960	1,857	87	3,194
	合計	379	1,242	2,983	313	4,917

資料：石狩市スポーツ協会資料

(3) 運営・維持管理状況

① 石狩市民プール

石狩市民プールの修繕費は施設管理者と石狩市で分担することとなっており、石狩市負担分は年平均 220 万円程度です。

石狩市公務サービス株式会社が管理運営を担っており、受付などプール運営管理人員がシフト制で常駐しているほか、水泳指導員はパートタイムを含めて約 10 人が登録しています。

また、2 台の送迎バス車両を運行しており、曜日によって方面を変えて市内各方面の利用者を送迎しています。

表 石狩市民プールに対する市の年度別修繕費支出(単位:万円)

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和 1 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
市負担分 修繕費	0	68	0	29	477	54	921	99	289

表 石狩市民プールの送迎バス運行状況(2024 年度)

曜日	方面	運行回数
月曜日	花川南方面	9往復
	花川南(トーメン含む)方面	2往復
火曜日	花川南方面	4往復
	樽川方面	5往復
	緑苑台方面	5往復
水曜日	石狩トーメン方面	7往復
	緑苑台方面	3往復
木曜日	花川南方面	5往復
	樽川方面	2往復
	緑苑台方面	5往復
金曜日	花川南方面	5往復
	花川南～樽川方面	5往復
	樽川方面	6往復

② 石狩市 B&G 海洋センタープール

石狩市スポーツ協会が石狩市 B&G 海洋センター(アリーナ・プール)の管理運営を担っています。プールの管理運営は、日中には 4 人のうちシフトで 2 名が対応しており、夜間には 2 名で対応しています。水泳教室を行う際は、上記のほか 5～6 人の水泳指導者が指導しています。

石狩市 B&G 海洋センタープールの修繕費は施設管理者と石狩市で分担することとなっており、石狩市負担分として令和 2 年度に更衣室トイレ修繕に約 160 万円を支出しています。

(4)上位関連計画

①第5期石狩市総合計画

計画期間：平成27年(2015年)～令和8年(2026年)

住み続けたいまち・住みたいまち

創造：文化、交流、創造するまち

絆：絆や人のつながりを大切にするまち

環境：幸せに暮らす環境があるまち

基本施策：教育 22 スポーツ・レクリエーション

【基本施策の方向性】

市民が心身ともに健康でいきいきと過ごし、充実した生活を送るため、自己に適したスポーツ・レクリエーションを継続的に実践し、健康の増進に努めていくことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、スポーツ・レクリエーション機会の充実や環境整備に努めます。

基本施策：行財政 24 財政運営

【基本施策の方向性】

～(中略)～ また、かつて急速に整備を進めてきた公共施設等が一斉に更新期を迎えていることから、可能な限り将来世代に負担を残さない、効率的・効果的な公共施設等の配置・規模など公共施設等マネジメントの徹底を図ります。

②石狩市都市整備骨格方針

計画期間：令和2年（2020年）～令和22年（2040年）

目指す都市像：北海道を支える国際物流・エネルギー港湾都市 いしかり

4つの大方針：石狩湾新港の地域の更なる発展／住みよい魅力あるまちづくりの推進／1次産業の供給力の確保・向上／優れた観光資源の活用

①市域をそれぞれの特性に合わせ4つのゾーンに分け、地域づくりの方針を設定。

現在の石狩市民プールが立地する場所は、【都市機能ゾーン】に位置。

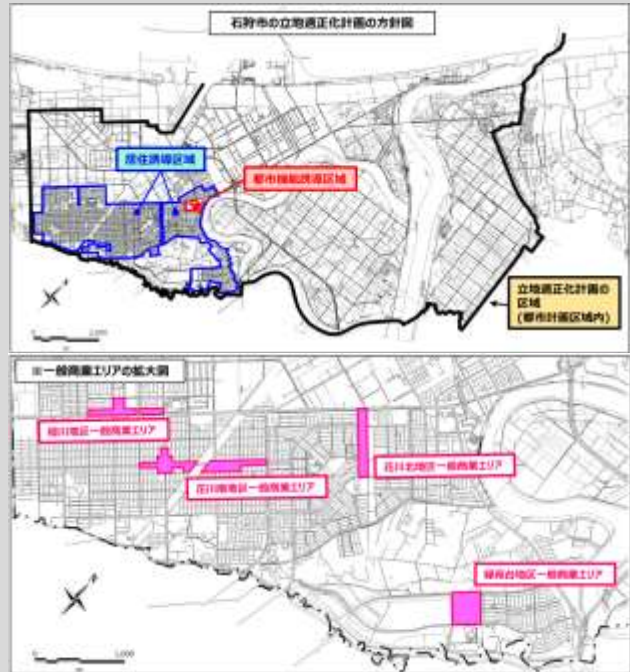
【都市機能ゾーン】エネルギー関連施設の誘致など、将来を担う発展軸となる施策の推進と、市外に住む市内就業者も住みたくなる魅力あるまちづくりのためのさまざまな取り組みを進めます。

②都市計画マスタープランにおいて、都市機能ゾーンの10の共通方針のうち、プール整備に関する方針を設定。

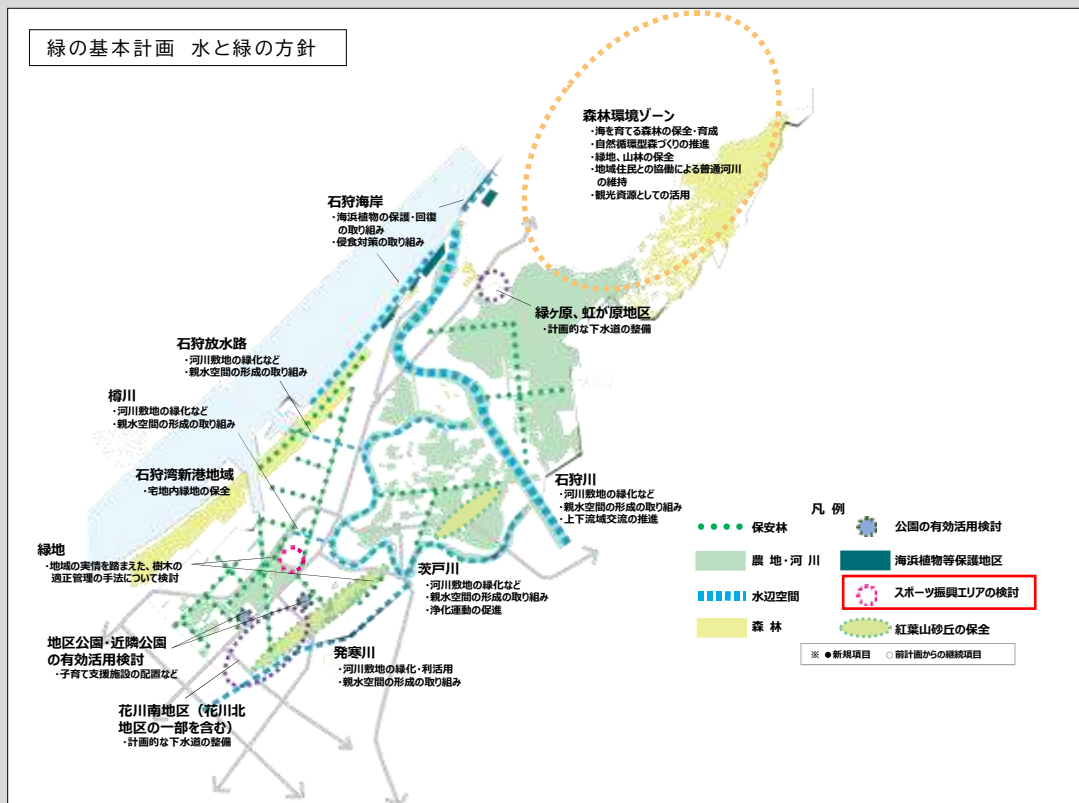
- 居住及び都市機能の推進を図るための土地利用の増進、整序
- 人の出会いや交流が生まれる、歩いて暮らせるまちづくりの検討
- 地域コミュニティ拠点の創出の取り組み
- 都市施設の計画的整備・更新

③立地適正化計画において、「居住誘導区域」及び「都市機能誘導区域」が設定されているとともに、都市機能誘導区域以外にも、現在の石狩市民プールが立地するエリアは、地域住民の利便性に寄与し、安定したサービスを提供できるよう土地利用を検討する「一般商業エリア」に位置付け。

④緑の基本計画において、現在の石狩市B&G海洋センターが立地する場所は、スポーツ振興エリアの設定を検討するエリアに位置。



緑の基本計画 水と緑の方針



③石狩市公共施設等総合管理計画【改訂版】

計画期間：平成26年度（2014年度）～令和15年度（2033年度）まで

①中長期的な視点でのマネジメント（ア公共施設を抜粋）

- ・保有する公共施設の全体面積を、人口減少や人口構造の変化を見据え、20%縮減します。
- ・新規の施設整備事業については単独施設の新規整備は行わず、施設の複合化・集約化、廃止・統廃合を基本とします。
- ・建設から一定期間を経過した施設は適宜点検・診断を実施し、建設から30年を超えるもので長期の活用が見込まれない場合は、廃止を基本とします。
- ・廃止した施設で、売却・貸付などが見込めない場合は、老朽化による破損等によって周辺の環境・治安に悪影響を与えないよう、取り壊しを基本とします。
- ・今後の財政推計を踏まえたうえで、重大な損傷や致命的な損傷となる前に予防的修繕を実施することにより、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることでライフサイクルコストを縮減します。
- ・施設によっては既に策定されている各計画を基本としながら、当計画との整合性を図り、必要に応じて適宜見直していきます。
- 石狩市公営住宅等長寿命化計画、石狩市公園長寿命化計画 等
- ・施設の改修や更新の際には、誰もが安全で快適に施設を利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入を推進します。
- ・公共施設における再生可能エネルギーを活用した設備の導入や、省エネ性能に優れた機器の導入など、脱炭素化に向けた取り組みを推進します。

②必要な公共サービスの再構築

③協働の推進

④地域ごとの公共施設等の在り方

④石狩市公共施設等総合管理計画 第2期個別施設計画

計画期間：令和2年度（2020年度）～令和15年度（2033年度）

石狩市民プール：民間事業者による開設から37年が経過し、老朽化が目立つことから今後の整備方針を検討する必要がある。市民の利用も多く、通年型の温水プールは当該施設のみであるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

石狩市B&G海洋センター：市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。

		経過年数	設備使用年数	新築年度	施設面積 (㎡)	ハード	ソフト	評価	評価	コメント		R5	R7	R8	R9	R10～
132	石狩市民プール	H14	47	新	1,764	62.9	54.2	A(維持)	維持	民間事業者による開設から37年が経過し、老朽化が目立つことから今後の整備方針を検討する必要がある。市民の利用も多く、通年型の温水プールは当該施設のみであるため、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持・方向性検討	機能保持・方向性検討				
		経過年数	設備使用年数	構造												
		21	47	鉄筋コンクリート造												
133	海洋センター	H4	47	新	1,628	60.1	52.3	A(維持)	維持	市民の利用者も多く、市内に代替施設がないことから、今後も適正な管理に努め、維持継続していく。	機能保持	機能保持				
		経過年数	設備使用年数	構造												
		31	47	鉄筋コンクリート												

⑤第3次石狩市健康づくり計画

計画期間：令和6年度（2024年度）～令和17年度（2035年度）

【健康づくりの推進】（該当部分のみ抜粋）

①栄養・食生活

②身体活動・運動

全世代の市民一人ひとりが自分に合った運動を楽しみながら継続し、体力づくりやストレス解消、疾病予防、介護予防につながる取組が必要

目標：日ごろからこまめに体を動かし、生活習慣病やロコモティブシンドロームを予防しましょう。

方針：・週2回、1回30分以上の運動を継続しましょう。

・幼児・小学生に体を動かす楽しさを伝えましょう。

③休養・こころの健康

④喫煙

⑤飲酒

⑥歯・口腔の健康

⑦生活習慣病予防（がん・循環器・糖尿病）

(5) 市内及び近隣におけるプールの供給状況

① 公営・民営のプール

市内及び近隣におけるプールとして、市内及び札幌市北区・西区・手稲区・東区に立地する、公営プールのほか、公園施設のプール及びスポーツクラブ等の民間も含めたプール施設の立地状況(学校プール除く)を見ると、石狩市の人口重心(令和2年(2020年)国勢調査)から5km圏内には、宿泊施設及び公園(屋外)のプールが立地しているものの、多くの市民が通年で利用できる屋内プール施設は立地していません。

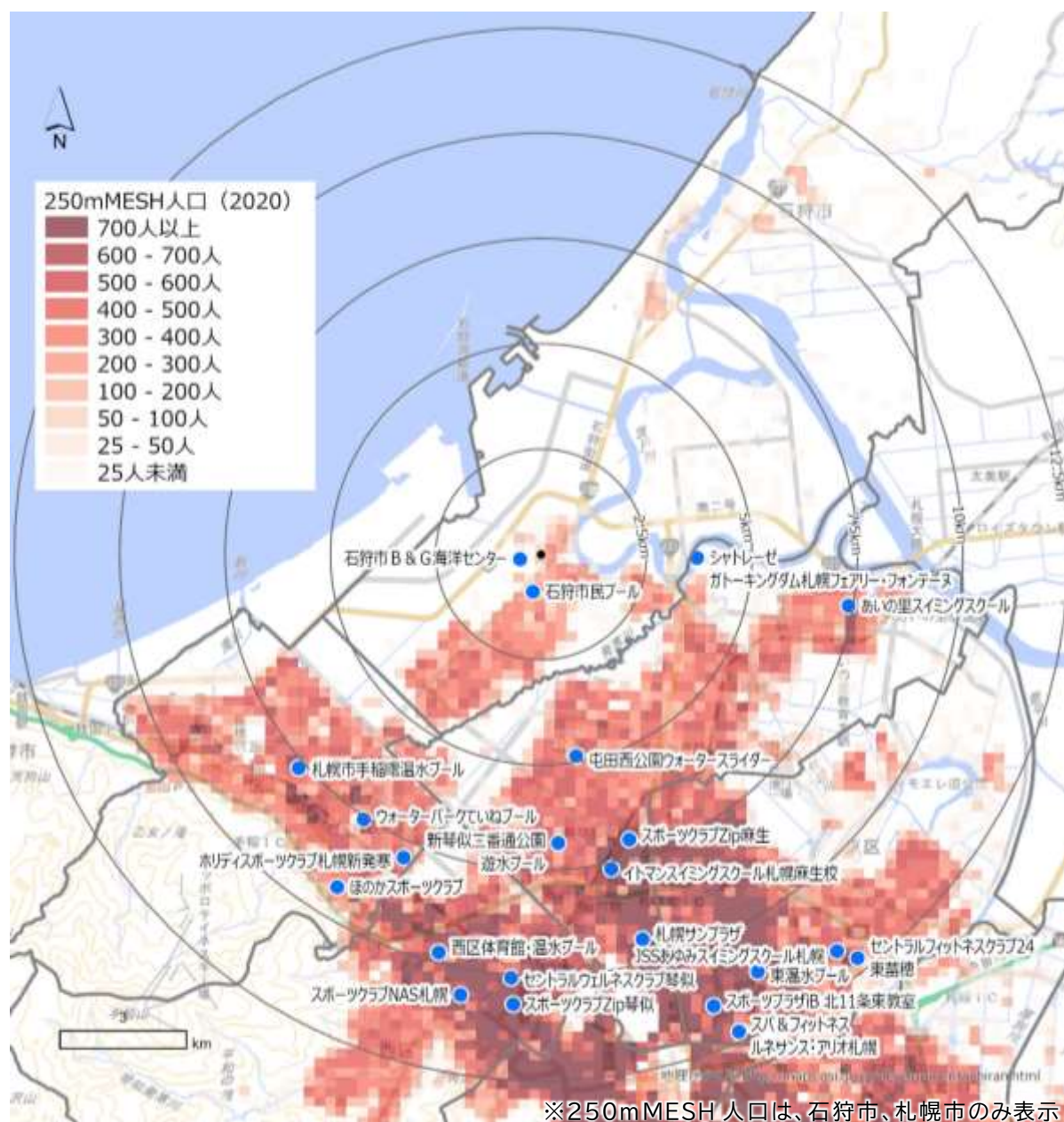


図 市内及び近隣におけるプール施設の立地状況

資料：総務省「令和2年(2020年)国勢調査」、iタウンページ(令和7年(2025年)4月時点)、Google Map(令和7年(2025年)5月時点)

②公認プール

「公認プール」とは、日本水泳連盟が公式競技会または公認競技会の会場として適格であると認めたプールであり、プールの広さ・水深、計測機器、諸室など様々な基準が規定されています。

北海道内では令和 7 年(2025 年)3月現在で 21 施設(プール数は 24)が公認プールとなっています。

所在	名称	種別	レーン数
札幌市	札幌市手稲曙温水プール	25m	7レーン
札幌市	札幌市平岸プール	50m	9レーン
札幌市	札幌市平岸プール	25m	16レーン
札幌市	札幌市平岸プール (サマプール)	25m	6レーン
江別市	北海道立野幌総合運動公園	50m	8レーン
江別市	北海道立野幌総合運動公園	飛込	
千歳市	千歳市温水プール	25m	8レーン
函館市	函館市民プール	50m	8レーン
深川市	深川市温水プール	25m	7レーン
三笠市	三笠市温水プール	25m	7レーン
岩見沢市	岩見沢市温水プール	25m	7レーン
稚内市	稚内市温水プール水夢館	25m	7レーン
北見市	北見市民温水プール	25m	8レーン
紋別市	紋別市健康プール	25m	7レーン
網走市	網走市民健康プール	25m	7レーン
白老町	白老町民温水プール	25m	7レーン
登別市	登別市民プール	25m	7レーン
室蘭市	入江運動公園温水プール	25m	8レーン
苫小牧市	アブロス日新温水プール	25m	8レーン
新ひだか町	新ひだか町静内町温水プール	25m	10レーン
芽室町	帯広の森市民プール	50m	8レーン
釧路市	釧路市鳥取温水プール	25m	6レーン
根室市	根室市温水プール	25m	7レーン
中標津町	中標津町温水プール	25m	8レーン



図 道内における公認プールの立地状況

資料：公益財団法人日本水泳連盟ホームページ

③市内小学校プールの設置状況

市内小学校におけるプール設置状況を見ると、市内 10 校のうち、半数はプールが設置されており、残りの半数は設置されておらず、他校のプールまたは石狩市 B&G 海洋センタープールを利用しています。具体的には、花川小学校及び緑苑台小学校の4～6年生の水泳授業が石狩市 B&G 海洋センタープールで行われています。

表 市内小学校のプール設置状況と水泳授業利用プール

学校名	児童数 (令和6年(2024年))	プール有無 (設置年度)	水泳授業で利用しているプール
石狩八幡小学校	91	有 (平成9年度(1997年度))	石狩八幡小学校プール
花川小学校	237	無	石狩市B&G海洋センタープール(4～6年生) 南線小学校プール(1～3年生)
生振小学校	72	無	石狩八幡小学校プール
南線小学校	946	有 (平成14年度(2002年度))	南線小学校プール
花川南小学校	558	有 (昭和58年度(1983年度))	花川南小学校プール
紅南小学校	352	無	双葉小学校プール
緑苑台小学校	303	無	石狩市B&G海洋センタープール(4～6年生) 南線小学校プール(1～3年生)
双葉小学校	262	有 (平成7年度(1995年度))	双葉小学校プール
浜益小学校	28	無	厚田学園プール
厚田学園 (前期課程)	25	有 (平成29年度(2017年度))	厚田学園プール

2-3 アンケート調査

(1) 調査概要

① 調査の目的

石狩市内にある二つの市営プール「石狩市民プール」および「石狩市B&G海洋センタープール」の再整備を検討するにあたり、市民および利用者の皆様からご意見を伺い、整備計画の参考とするための基礎資料として、本調査を実施しました。

② 調査対象および調査方法

- ・市内小中学校の児童生徒、認定こども園の園児のいる世帯…児童生徒、園児を通じて各世帯配布および郵送回収
- ・石狩市民プールおよび市内公共施設の利用者…石狩市民プールほか公共施設での留め置き配布および郵送回収
- ・石狩市民…石狩市HP上にwebアンケートURLを公開し、web回答

③ 調査期間

令和7年(2025年)2月3日～令和7年(2025年)2月28日

④ 回収状況

アンケートの配布数・回収数・回収率は以下のとおりです。

表 アンケート配布数・回収数・回収率

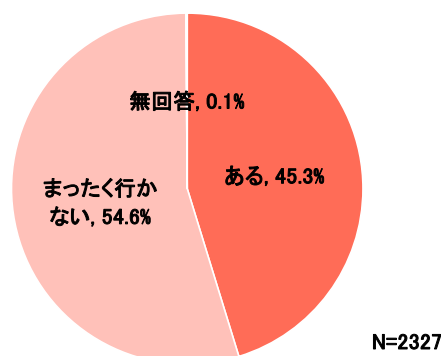
項目	配布先もしくは郵送方法	件数もしくは割合
配布	小学校	2,876
	中学校	1,492
	認定こども園	1,835
	市民プール利用者	200
	あい・ボード(留め置き配布)	100
	計	6,503
回収	郵送回収	1,175
	web回収	1,152
	計	2,327
回収率	—	35.8%

(2) 調査結果概要

① プール利用実態

i) プールに行く頻度

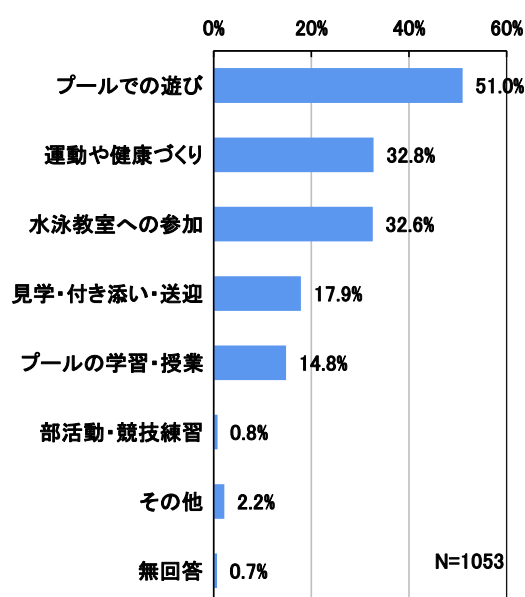
普段プールに行くことが「ある」と答えた人が 45.3%、「まったく行かない」と答えた人が 54.6%でした。



ii) プールに行く目的(複数回答可)

※ 普段プールに行くことがあると答えた人のみ回答

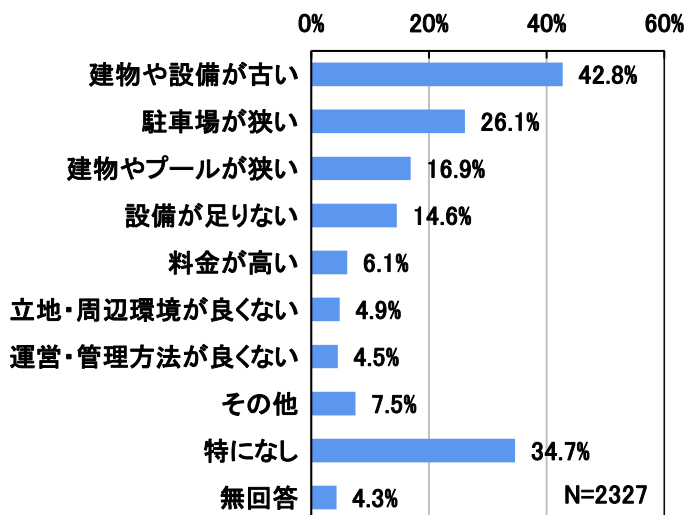
プールに行く目的としては、「プールでの遊び」が最も多く51.0%、次いで「運動や健康づくり」が32.8%、「水泳教室への参加」が32.6%と続きます。



②石狩市営プール(石狩市民プールと石狩市 B&G 海洋センタープール)の整備について

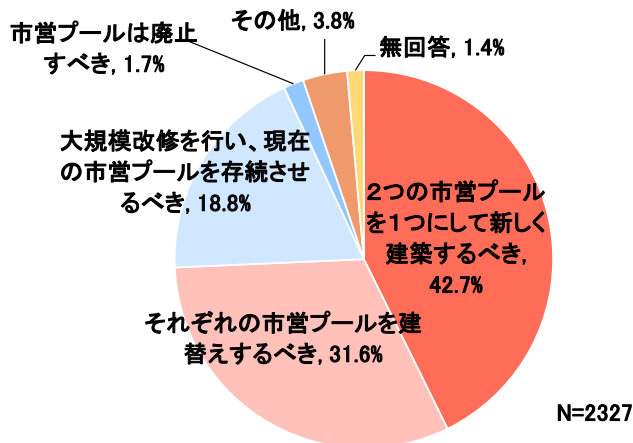
i)現在の市営プールの問題点や課題(複数回答可)

市営プールの問題点や課題について、「建物や設備が古い」と答えた人が42.8%と最も多く、次いで「駐車場が狭い」が26.1%、「建物やプールが狭い」が16.9%と続きます。



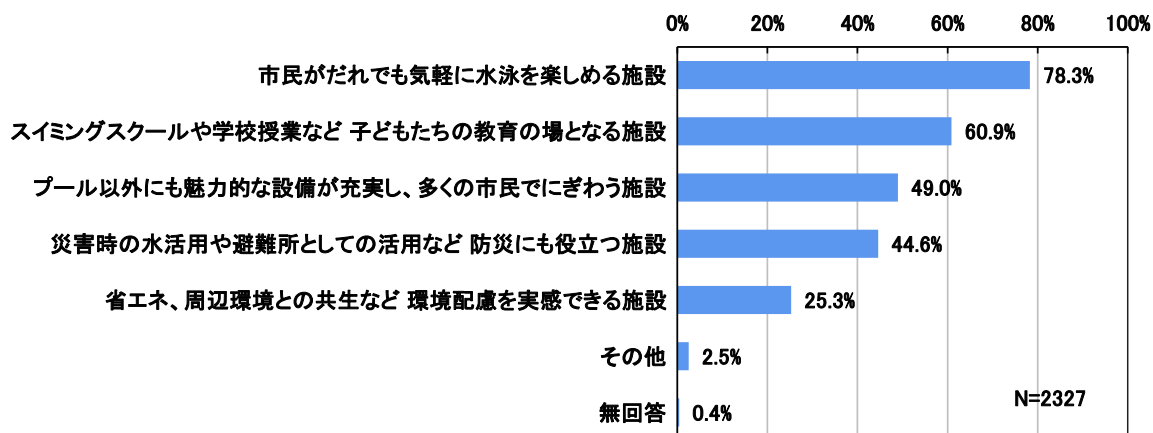
ii)市営プールを今後どう整備すべきか

今後市営プールをどのように整備すべきかについて、「2つの市営プールを1つにして新しく建築すべき」が42.7%と最も多く、次いで「それぞれの市営プールを建替えるべき」が31.6%、「大規模改修を行い、現在の市営プールを存続させるべき」が18.8%と続きます。



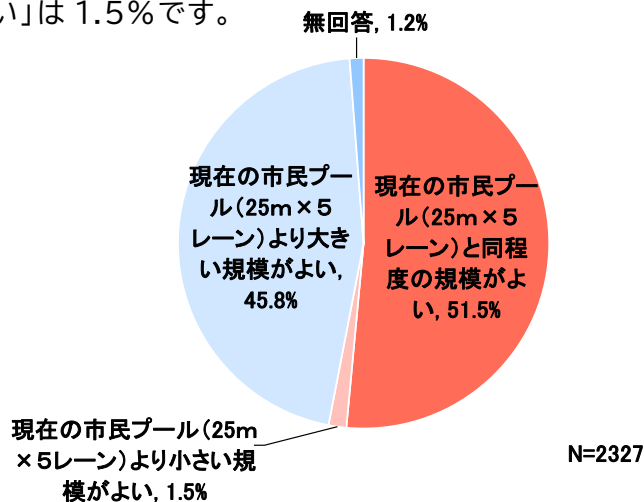
iii) どのような市営プールを整備すべきか(複数回答可)

どのような市営プールを整備すべきかについて、「市民がだれでも気軽に水泳を楽しめる施設」が78.3%と最も多く、次いで「スイミングスクールや学校授業など子どもたちの教育の場となる施設」が60.9%、「プール以外にも魅力的な設備が充実し、多くの市民でにぎわう施設」が49.0%と続きます。



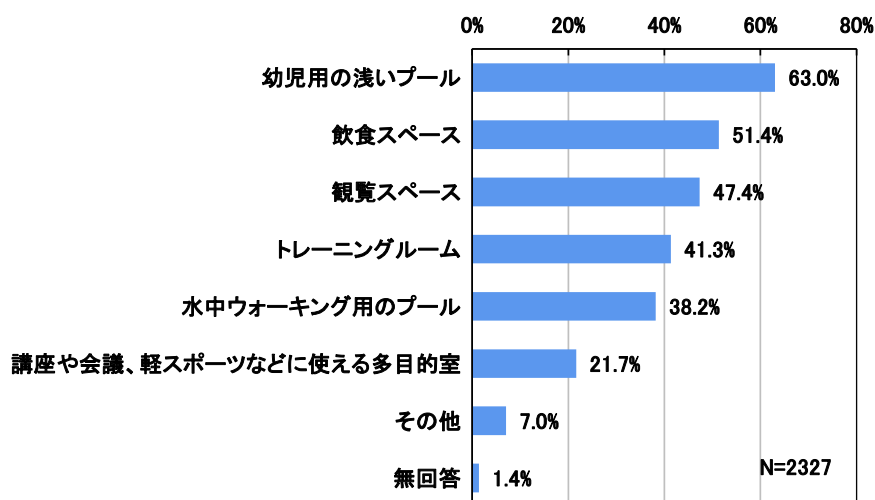
iv) 整備するプールの規模

整備するプールの規模は、「現在の市民プールと同程度の規模がよい」が最も多く、51.5%、「現在の市民プールより大きい規模がよい」が45.8%であり、「現在の市民プールより小さい規模がよい」は1.5%です。



v)「あったら良い」と思う設備や機能(複数回答可)

メインプール以外にあったら良いと思う設備や機能について、「幼児用の浅いプール」が63.0%と最も多く、次いで「飲食スペース」が51.4%、「観覧スペース」が47.4%と続きます。

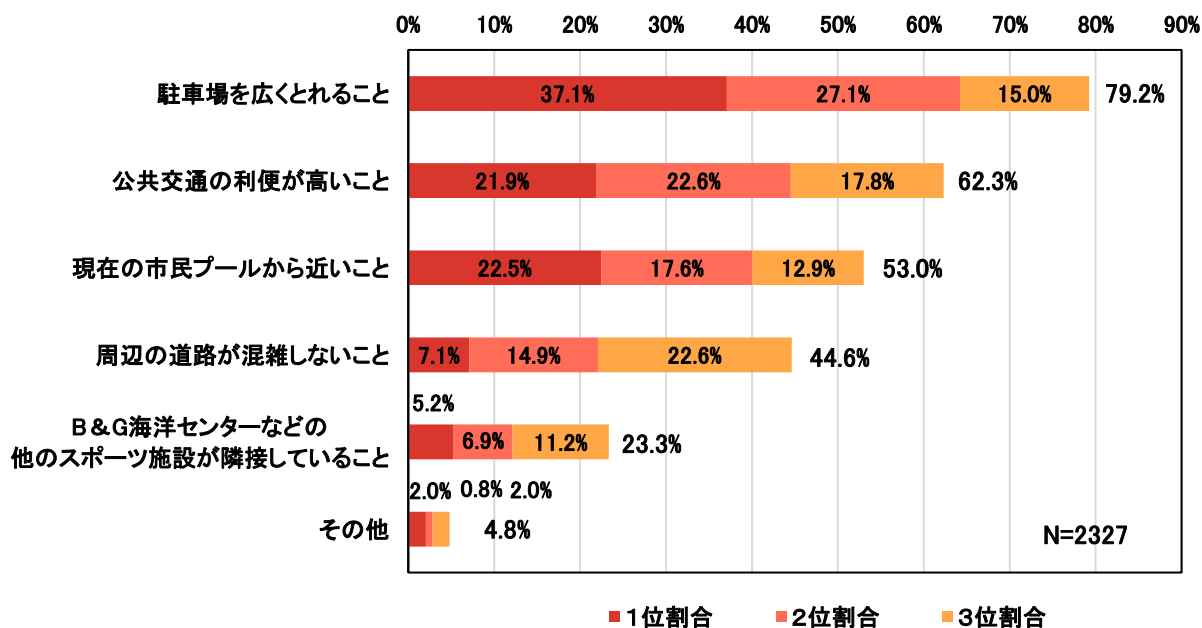


vi) 建替え先を選ぶにあたって重視すべきこと

建替え先を決めるにあたって重視すべき視点について、1位から3位まで選択肢から選んでもらいました。

1位から3位までに挙げられている割合を見ると、「駐車場を広く取れること」が最も多く79.2%、次いで「公共交通の利便が高いこと」が62.3%、「現在の市民プールから近いこと」が53.0%と続きます。

また、それぞれの項目の1位、2位、3位の回答割合は、以下のグラフのとおりです。



2-4 ヒアリング

(1) ヒアリング概要

関係団体ヒアリングとして、石狩市公務サービス株式会社(石狩市民プールの運営管理者)、石狩市水泳協会(市民大会や教室運営等)、石狩市スポーツ協会(石狩市 B & G 海洋センタープールの運営管理者)の3団体にヒアリングを行いました。

表 ヒアリング概要

ヒアリング先団体名	ヒアリング日時
石狩市公務サービス株式会社	令和7年(2025年)2月14日
石狩市水泳協会	同上
石狩市スポーツ協会	令和7年(2025年)2月17日

(2) ヒアリング結果(まとめ)

① 石狩市公務サービス株式会社

i) 現在の施設の状況・問題点

- ・水槽から水が浸み出す、水循環器が砂を排出する、空調から異音がするという不具合がある。また、外壁に亀裂が入っている。
- ・その他、LGBTの方等に配慮したつくりとすると必要があると感じる。
- ・利用者からは、高齢者の利用が多いため手すりが欲しいといった意見や、エレベーターがなく2階のホール使用時に重い荷物を搬入するのが大変であるといった意見が聞かれる。

ii) プールの利用状況

- ・モーニングクラスは、60～80代半ばの女性が、ナイトクラスは60代の男女の利用が、水中運動の利用者は70代の方が多い。
- ・一般利用者は空いているレーンを使用する形であり、午前中の利用が多い。一般利用者の年齢層は高めだが、土日になると若い世代の利用が増える。また、夏休みになるとこどもの利用が増える。

iii) その他施設の利用状況

- ・ホールについては、企業の宴会や懇親会など、プールと関連していない利用が多い。
- ・ロビーでは、コンビニ等で買った飲食物を食べながらくつろぐ人も見られる。受付前の自販機において、軽食等の導入を考えたが実現にはいたらなかった。
- ・観覧室は、スタッフ不足で清掃が難しいため、飲食禁止である。
- ・駐車場は10～15台ほどしかなく、スタッフは花川北コミュニティセンターの駐車場を利用している。利用者も、送迎時間帯などは隣のコンビニや花川北コミュニティセンターの駐車場を利用しているようである。

iv) 運営状況および課題

- ・送迎バスを午前中1台、夕方は2台運行しているが、曜日によって利用者数のばらつきがあることが課題である。

- ・指導員はパート、フルタイム、パートとフルの中間(週 30h程度)合わせて 10 人程度である。半分以上は 60 代であり、監視員も兼ねている。指導者が不足しており、ニーズがあったとしても現状からスクール数を増やすことが難しい。また、高齢化が進んでおり、安全面からも懸念がある。
- ・スクール以外のイベント等では、石狩市民プール主催で着衣水泳(水難講習)の講習会等を開催したことがある。以前は記録会を開催していたが、人員確保の面から開催は難しい。

v) 今後の施設への要望・運営イメージ

- ・ターゲット・方向性を明確にしてそれに合わせた施設として欲しい。例えば、ジム等を併設したトレーニング施設、長水路にして大会を開催できる施設、スライダー等を設置したことも向けの施設などが考えられる。
- ・スクール利用につながる幼稚園や小学生をターゲットとした運営が考えられるが、指導者の確保が課題である。競技の方向性に進むとしても同様である。

②石狩市水泳協会

i) 現在の活動と参加者の状況について

- ・市民大会(毎年10月)を開催・運営している。参加人数は毎年約 80～90 名ほどである。参加者は小学生以上であり、こどもと大人の比率は半々程度である。大会時には石狩市民プールおよび花川北コミュニティセンターの駐車場では収容しきれないため、花川北コミュニティセンターのテニスコートを臨時駐車場として利用している。
- ・石狩市 B & G 海洋センタープールにおいて夏期に開催する 7 月水泳教室と初心者水泳教室の2つの教室に指導員を2名派遣している。参加者のほとんどは小学生であり、多くが初心者である。参加者は 7 月水泳教室が 15～20 人程度、初心者水泳教室が 10 人程度、計 30 人程度である。
- ・夏期には 2 人の指導員を派遣し、学校のプール授業も実施している。
- ・その他、石狩市民プールが開いている教室とは別に水泳教室を開講している。現在の水泳協会会員は 30 名程度である。

ii) 運営や施設に関する課題

- ・公認プールでなく、記録がとれない、競技が開催できないことが一番の課題である。また、そのようなプールを整備するのであれば、それに見合った駐車場の整備も必要になる。
- ・指導者が不足している。指導者を育てたいが、確保が難しい。
- ・石狩市民プールでの水泳教室を増やしたいと考えているが、レーンの空きがなく難しい。
- ・プールの出入り口箇所のはしごが丸足であり、高齢者への負担が大きいと感じる。
- ・こどもにとってはプールが深く、台をいれて高さ調整をしている。
- ・利用者には高齢の方が多く、足の確保も課題である。水泳協会会員の利用者は石狩市民プールのスクール送迎バスは利用できず、また路線バスも教室の時間と合っているとは限らない。

iii) 今後の施設への要望

- ・大会が開催できる公認プールが良いと考える。大会開催、記録が取れるというメリットのほかにも、近くにしっかりと練習の場が確保できること、またしっかりとプールがあるということで水泳を始めるきっかけにもなるのではないかと。

- ・公認プールは最低 6 レーン、スタート台、水深 1.35m 以上、レーン幅 2～2.5m 等の基準がある(※公益財団法人日本水泳連盟「プール公認規則 2024」(2024.4.1 施行)参照)。
- ・石狩市民プールはレーンの空きがなくレッスンを増やせないことから 7 レーンは確保してほしい。幅は 2m 以上を希望する。
- ・観覧席があり市民が間近で応援できるプールであるとよい。また、市民みんなが水泳を楽しめるような、様々な水深等のプールがあればよいと考えられる。大会用のメインプールの他に、障がい者用のプールや高齢者の水中運動用、幼児用に水深が異なるプールがあるとよい。そのために床を可動式にすることも考えられる。可動式のプールが 2 コースあればいろいろな使い方ができるのではないかな。
- ・また、ありきたりなプールでなく、石狩市が掲げている「市民ひとりスポーツ」にふさわしい施設を作ってほしい。

③石狩市スポーツ協会

i)現在の施設の状況・問題点

- ・プールの不具合としては、濾過器の老朽化、上屋シートの経年劣化、プール鉄骨の錆び、水銀灯の LED への交換の必要性、暖房機の老朽化、プールサイドの床面のひび割れがあげられる。また、気温が上がらない場合は水温があがりにくい。

ii)利用者の状況

- ・日中は泳ぐよりも、水に入って遊ぶこどもの利用の方が多い。幼児用プール以外は浮き輪を禁止している。大人向けのプールの水深が低学年にとっては少し深く、低学年も幼児用プールで遊ぶ。学校が終わった時間帯の利用が多い。
- ・大人の利用は、平日は仕事帰りの夜間利用が多く、土日の午前にはこどもの付き添いで利用する人が多い。
- ・学校利用では、花川小学校と緑苑台小学校が授業で使用する。昨年は花川小学校の着衣水泳を行った。市内の保育園も利用する。
- ・プールへは車もしくは送迎で来る人が多い。

iii)運営状況および課題

- ・運営人員は、日中は 4 人のうちシフトで 2 名が対応、夜間は 2 名で対応している状況である。夜間の監視員は、17:30～21:00 頃まで働いている。21 時以降は無人で機械監視は無いが、非常通報ボタンは有る。
- ・本来であれば、監視員は交代制とし控室で休むのが理想だが、運営人員、経費、監視員の休憩室がない等の問題から休憩ありのシフトを回せない状況である。屋内からプールを監視できるブースがあるとよい。
- ・現在行っている事業・イベントとしては、はじめて泳ぐ小学生向けに「はじめての水泳教室」を夏期に開催している。また、小学校高学年向けに、カヌー等が体験できる「マリンスポーツ教室」を実施している。大人向けの SUP(サップ)教室を開催したいと考えているが、石狩市民プールと集約化した場合には課題があるかもしれない。
- ・トレーニングルームにはマシンを導入していない。遊びでの利用が多いことからトレーニングと複合的な利用をしている人は少ないのではないかな。
- ・駐車場は 64 台程度であり、一般利用と教室利用で駐車場が埋まる。夏は向かいの空地を利用するため困らないが、冬期は雪で使用できない。

iv) 今後の施設への要望

- ・石狩市民プールは泳ぐ施設、石狩市B & G海洋センタープールはこどもが気軽に遊びに来る施設となっている。引き続きこどもが使いやすく、遊べるような施設であると良い。
- ・乾燥機や監視員が休めるような休憩室があればよい。
- ・過去にカップラーメンの自販機を設置した際に利用者から好評を得ていたことから、プールにおける飲食スペースの需要はあると考えられる。

2-5 プールを取り巻く課題

石狩市および現施設の現況、アンケート調査結果およびヒアリング結果をふまえ、「社会状況の視点」、「利用者の視点」、「管理者の視点」の3つの視点から課題を整理しました。

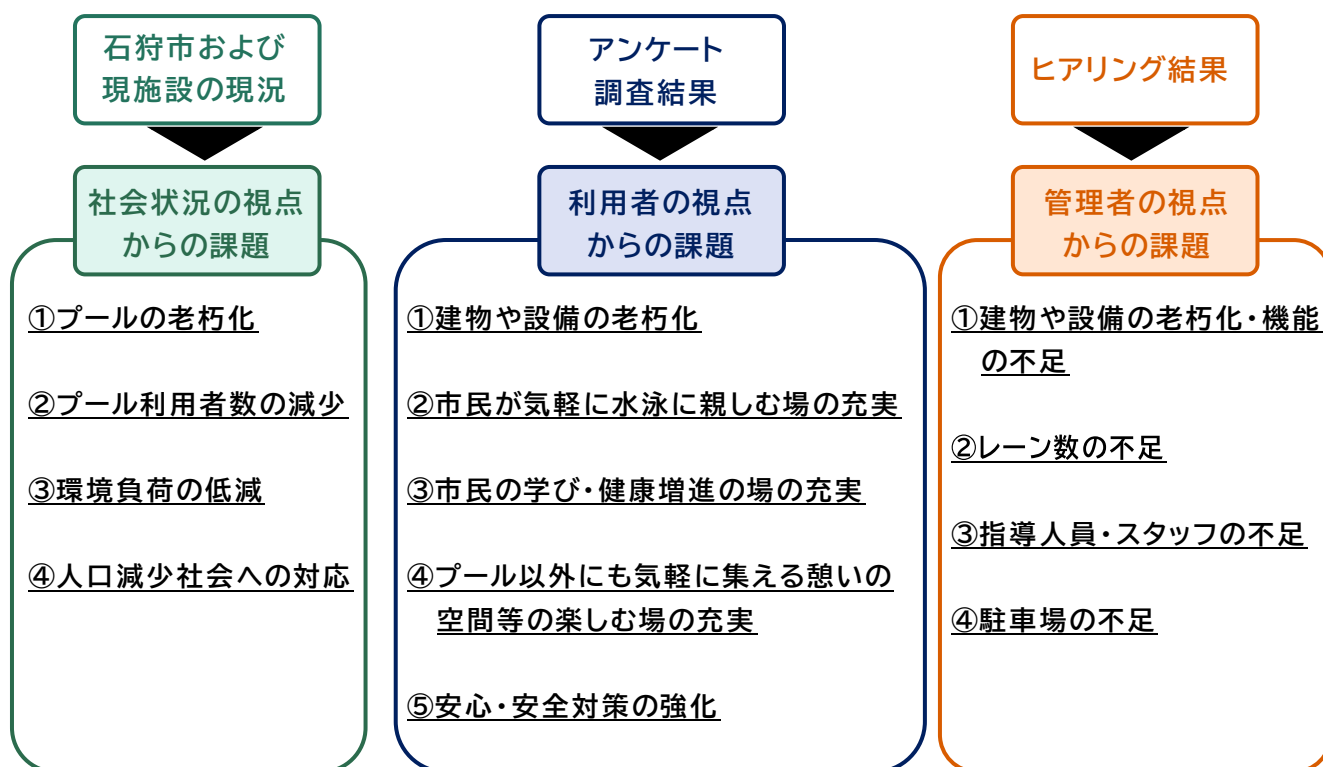


図 プールを取り巻く課題

(1)社会状況の視点から

① プールの老朽化

石狩市民プールは昭和 62 年(1987 年)に、石狩市 B&G 海洋センタープールは平成 4 年(1992 年)に建設されています。どちらも築30年以上が経過し、安全面や設備状況等を踏まえると、老朽化への対応が求められています。

② プール利用者数の減少

石狩市民プールおよび石狩市 B&G 海洋センタープールの利用者数はともに減少を続けており、石狩市 B&G 海洋センタープールの利用者数は平成 27 年(2015 年)と比べると8割弱となっています。より多くの市民が使いやすい、使いたくなるような施設が求められています。

③ 環境負荷の低減

地球温暖化等が進行する中、脱炭素の実現やLCC(ライフサイクルコスト)を抑えた持続可能な施設整備が求められています。

④ 人口減少社会への対応

石狩市においては、平成 17 年(2005 年)以降人口減少が進み、今後も減少が続くことが予測されています。人口減少が進む中、公共施設の管理の効率化や周辺施設との連携等を考慮した施設整備が求められています。

(2)利用者の視点から

① 建物や設備の老朽化

市民アンケート調査の結果、現在の市営プールの問題点や課題として、約 42.8%と最も多くの方が、「建物や設備が古い」と回答しています。多くの方が、建物の老朽化による衛生面や安全面の不安、行きづらさ等に言及しており、対応が求められます。また、今後の整備方針に関する設問では、74.3%の方が「新しく建築すべき」もしくは「建替えるべき」と回答しており、新しい施設の建設が求められています。

② 市民が気軽に水泳に親しむ場の充実

市民アンケート調査の結果、どのような市営プールを整備すべきかについて、78.3%と最も多くの方が「市民がだれでも気軽に水泳を楽しめる施設」と回答しています。また、現在プールに行く目的として、最も多くの 51.0%の方が「プールでの遊び」と回答しており、市民が気軽に楽しめる場としての施設が求められています。

③ 市民の学び・健康増進の場の充実

市民アンケート調査の結果、どのような市営プールを整備すべきかについて、60.9%と半数以上が「スイミングスクールや学校授業など子どもたちの教育の場となる施設」と回答しています。また、自由意見において、「スイミングスクールの充実」や「高齢者の健康づくり」に関する意見が多く寄せられたことから、こどもから高齢者までの学びや健康増進の場が求められています。

④ プール以外にも気軽に集える憩いの空間等の楽しむ場の充実

市民アンケート調査の結果、どのような市営プールを整備すべきかについて、49.0%と約半数が「プール以外にも魅力的な設備が充実し、多くの市民でにぎわう施設」と回答しており、プール以外にも気軽に集える憩いの空間等の楽しむ場が求められています。

⑤ 安心・安全対策の強化

市民アンケート調査の結果、市営プールのありかたについての自由意見においても子どもが安心・安全に楽しめる施設が求められています。

(3) 管理者の視点から

① 建物や設備の老朽化・機能の不足

施設は築 30 年以上経過し、老朽化が進んでいます。ヒアリングの結果、石狩市民プールにおいては水槽や水循環器の不具合、外壁の亀裂等の不具合が、石狩市 B & G 海洋センタープールにおいては上屋シートの縮小等が確認されています。また、監視員の休憩室が十分ではない状況となっており、プール運営に関する機能の不足もみられ、施設の老朽化や機能不足への対応が求められています。

② レーン数の不足

レーン数が限られ、スクール利用を増やすことができない状況にあり、一般開放においても限られたスペースでの利用となっている状況にあります。

③ 指導人員・スタッフの不足

スクールへの入会要望はあるものの、指導人員が不足しており、スクールを増やせない状況にあります。また、スタッフが足りないことから監視員と指導員を兼任せざるを得ない状況にあります。

④ 駐車場の不足

駐車場は現在 10～15 台ほどしかなく、送迎時間などの満車時は隣接する花川北コミュニティセンターの駐車場を使用しています。しかし、イベント時や市民大会開催時は駐車場が足りず、対応が必要な状況にあります。

第3章 再整備に関する基本的な考え方

3-1 基本方針

こどもをはじめとした市民誰もが安心・安全に水泳等を楽しむとともに、心身の健康増進や多様な目的で気軽に集える憩いの空間として、世代を超えたふれあいの拠点づくりを目指す

以上の基本方針をふまえ、以下の5つの視点から施設整備を進めていきます。

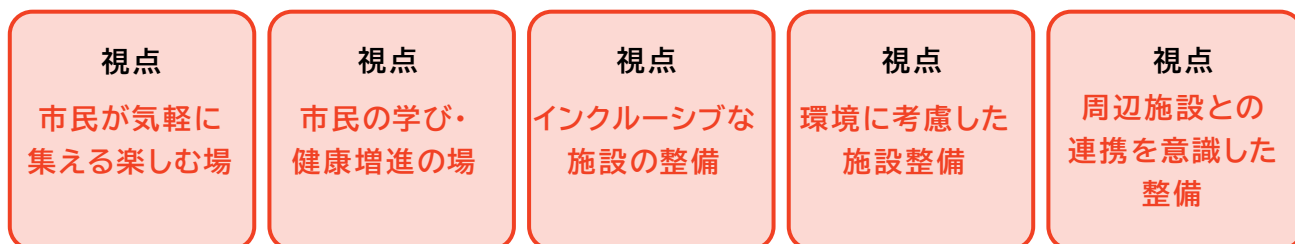


図 基本方針をふまえた整備に関する5つの視点

(1) 市民が気軽に集える楽しむ場

メインプールに加え、幼児用プールを整備することで、市民が気軽に集い、水泳をはじめとするレジャーを楽しめる場とするとともに、プール以外でも多様な目的で訪れ、楽しむことができるふれあいの場を目指します。

(2) 市民の学び・健康増進の場

水泳教室やエクササイズ、水中ウォーキング、その他スポーツを通じて市民が学び、健康を増進できる場を整備するとともに、学校の水泳授業やプール以外のスポーツ利用も含め、市民の多様な学びと健康づくりを支える施設を目指します。

(3) インクルーシブな施設の整備

こどもから高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が安心・安全に楽しみ、健康増進に取り組めるよう、ユニバーサルデザインやバリアフリーを取り入れ、誰もが快適に利用できるインクルーシブな施設の整備を進めます。

(4) 環境に考慮した施設整備

市の脱炭素化(ゼロカーボン)の推進をふまえ、環境負荷の低減と施設の維持管理のしやすさを両立するため、LCC(ライフサイクルコスト)やLCCO₂(ライフサイクルCO₂)の抑制にも配慮した、持続可能な施設整備を目指します。

(5) 周辺施設との連携を意識した整備

人口減少が進む中で持続可能で魅力あるまちづくりを実現するため、周辺施設との連携や機能強化につながる建設敷地の選定を行い、市全体の魅力向上に寄与する施設整備を目指します。

3-2 市営プールに求められる機能の想定

(1)メインプール

市民の一般利用、学校水泳授業等の利用を想定し、25メートルプールの設置を検討します。

(2)幼児用プール

身長のない幼児でも安全に水に親しめる場として、水深の浅いプールの設置を検討します。

(3)滑り台等の遊べる設備

幼児や小学生が遊ぶ場として利用できるような、滑り台等の遊べる設備の設置を検討します。

(4)健康増進機能のあるプール

水中ウォーキング用等の健康増進機能のあるプールの設置を検討します。

(5)十分な広さの駐車場

送迎時やイベント時においても十分な広さの駐車場を検討します。

(6)トレーニングルーム

市民の健康増進の場として、簡易的なマシンや運動できる設備を備えたトレーニングルームの設置を検討します。

(7)多目的室

会議や集会、軽い運動、各種イベントでの使用等、様々な用途で使用可能で、地域交流や地域活動、健康増進の場となる多目的室の設置を検討します。

(8)飲食・休憩・滞留スペース

プール前後での飲食・休憩のほか、プール利用に関わらず、市民が気軽に集い楽しめる場として、飲食や休憩、滞留できるスペースの設置を検討します。

(9)その他

プールの必要施設として、更衣室、観覧スペース、シャワー室、採暖室、多目的更衣室やトイレ等の設備が考えられるほか、市民の交流や活動の場となる機能の充実についても検討します。

3-3 建設候補地の考え方

(1)建設候補地

建設候補地は、2つの市営プールに近接した市有の未利用地等から選定します。

下表に示す11の市有地のうち、市営プールの整備の可否を検討し、5つの市有地を建設候補地として検討することとします。

表 建設候補地となる市有の未利用地等

	所在	面積	土地所有者	市営プール整備の可否
A	石狩市 B&G 海洋センター横 (花畔 337-3 の一部)	約 4,200 m ²	石狩市	検討対象とする。
B	旧公民館跡地 (花川北6条1丁目 42 番地)	約 4,000 m ²	石狩市	検討対象とする。
C	市役所北東側未利用地 (花川北7条1丁目 1-14、1-15、2、 3、4-4、4-5、8、9)	約 8,000 m ²	石狩市	現在、市や団体等の主催によるイベントや臨時駐車場等で使用しており、他に代替地がないことから、建設候補地から除外する。
D	花川北中学校裏側 旧給食センター跡地 (花川北3条4丁目 130-1 の一部、 130-2)	約 3,700 m ²	石狩市 ※一部学校用地	検討対象とする。
E	石狩市 B&G 海洋センター北側空き地 (花畔 342-2 の一部)	約 15,300 m ²	石狩市	現在、市や団体等の主催によるイベントや臨時駐車場、冬期間の雪の堆積場等で使用しており、他に代替地がないことから建設候補地から除外する。
F	旧花川南浄水場 (花川南4条3丁目 1-1)	約 2,400 m ²	石狩市	現存する施設の解体費の負担が生じることから、建設候補地から除外する。
G	緑苑台中央3丁目 604 の一部	約 28,000 m ²	石狩市 ※学校用地	中学校予定地として、今後活用する可能性が想定されるため、建設候補地から除外する。
H	若葉公園の一部 (花川北4条3丁目2の一部)	約 3,200 m ²	石狩市	現状、公園利用者が多く、プール建設にあたっては、公園の都市計画変更を要するとともに公園の大規模改修等が必要となることから、建設候補地から除外する。
I	学び交流センターの一部 (花川北3条3丁目の一部)	約 7,000 m ²	石狩市	現状、施設の利用者が多く、今後も活用される予定があるため、建設候補地から除外する。
J	現石狩市民プールの敷地 (花川北 3 条 2 丁目 198-3)	約 2,000 m ²	石狩市	検討対象とする。
K	りんくる横空き地 (花川北6条1丁目 601 番地、602 番地の一部)	約 5,000 m ²	石狩市	検討対象とする。



図 建設候補地となる市有の未利用地等の位置図



図 建設候補地の位置

①石狩市 B&G 海洋センター横(約 4,200 m²)



②旧公民館跡地(約 4,000 m²)



③花川北中学校裏側 旧給食センター跡地
(約 3,700 m²)



④現石狩市民プールの敷地(約 2,000 m²)



⑤りんくる横空き地(約 5,000 m²)



図 建設候補地

(2)建設候補地の比較評価

①評価項目

5つの建設候補地について、下表に示す項目で比較し検討を行います。

表 評価項目

評価の観点		評価項目	評価基準
安全性	災害ハザードに含まれていないか	洪水浸水想定区域	浸水想定区域に含まれない場合は○
		津波浸水想定区域	浸水想定区域に含まれない場合は○
		土砂災害特別警戒区域・警戒区域	土砂災害特別警戒区域・警戒区域に含まれない場合は○
機能性	敷地形状は使いやすいものか	敷地形状	整形の場合は○
	敷地面積に十分な面積があるか	敷地面積	現石狩市民プールの建築面積と比較し、十分な敷地面積がある場合は○、特に優位な場合は◎
	十分な駐車台数を確保できるか	外構面積(敷地面積－建築面積(現状))	現石狩市民プールの駐車台数と比較して、多くの台数を駐車できる面積を有する場合は○
利便性	近隣施設と一体的な利用が可能か	敷地近隣(100m 圏程度)に立地する生活利便施設／スポーツ施設の立地状況	生活利便施設(商業、医療、子育て支援施設、公共施設)やスポーツ施設が、半径 100m 程度の圏内に立地している場合は○、特に優位な場合は◎
	各地区からのアクセスが良いか	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの平均距離	旧石狩市内の小学校区で算定し、平均距離が短い場合は○
	公共交通からアクセス性の良い立地か	最寄のバス停との距離	建設候補地から徒歩圏内(半径 300m 圏)に立地し、札幌等の各方面と結ぶバス路線が多く運行している場合は○
都市計画	都市計画・用途地域上の立地制約はあるか	都市計画・用途地域の指定状況	現状の指定状況で建設可能な場合は○
実現性	事業推進上における課題はないか		特に大きな課題がなく建設可能な場合は○

②比較検討結果

前述の項目で比較した結果は、下表のとおりです。具体的な建設候補地については、今後詳細に検討を行い、基本計画の策定時に決定することとします。

表 建設候補地の比較

評価項目		①石狩市 B&G 海洋センター横	②旧公民館跡地	③花川北中学校裏、旧給食センター跡地	④現石狩市民プールの敷地	⑤りんくる横空き地
安全性	洪水浸水想定区域	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない
	評価	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている
	津波浸水想定区域	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない
	評価	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている	○安全性が確保されている
	土砂災害特別警戒区域・警戒区域	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない	含まれない
機能性	敷地形状は使いやすいものか	整形	整形	不整形	不整形	整形
	評価	○整形で使いやすい	○整形で使いやすい	▲不整形で使用のしやすさに制限あり	▲不整形で使用のしやすさに制限あり	○整形で使いやすい
	敷地面積に十分な面積があるか ※現石狩市民プールの建築面積(約 1,210 ㎡)を用いた評価	敷地面積： 約 4,200 ㎡ 建築面積： 約 1,210 ㎡(共通) →建蔽率：28.8%<60%(指定建蔽率)	敷地面積： 約 4,000 ㎡ 建築面積： 約 1,210 ㎡(共通) →建蔽率：30.3%<80%(指定建蔽率)	敷地面積： 約 3,700 ㎡ 建築面積： 約 1,210 ㎡(共通) →建蔽率：32.7%<60%(指定建蔽率)	敷地面積： 約 2,000 ㎡ 建築面積： 約 1,210 ㎡(共通) →建蔽率：60.5%<80%(指定建蔽率)	敷地面積： 約 5,000 ㎡ 建築面積： 約 1,210 ㎡(共通) →建蔽率：24.2%<80%(指定建蔽率)
	評価	○敷地に余裕があり、自由度高く建設が可能	○敷地に余裕があり、自由度高く建設が可能	○敷地に余裕があり、自由度高く建設が可能	▲現状と同規模となり、建設に制約が生じる	◎敷地が最も広く、自由度高く建設が可能
	十分な駐車場の確保が可能か	駐車場含めた外構面積：約 2,990 ㎡(4,220-1,210)	駐車場含めた外構面積：約 2,790 ㎡(4,000-1,210)	駐車場含めた外構面積：約 2,490 ㎡(3,700-1,210)	駐車場含めた外構面積：約 790 ㎡(2000-1,210)	駐車場含めた外構面積：約 3,790 ㎡(5,000-1,210)
利便性	敷地近隣(100m 圏程度)での施設立地状況	【スポーツ】石狩市B & G海洋センター 【スポーツ】はまなす国体記念石狩市スポーツ広場	【行政】石狩市役所 【福祉】総合保健福祉センターりんくる	【教育】石狩市立花川北中学校	【交流】花川北コミュニティセンター 【商業】セブン-イレブン花川北 3 条店 【商業】ツルハドラッグ花川北店	【行政】石狩市役所 【福祉】総合保健福祉センターりんくる 【社教】石狩市民図書館 【金融】石狩市役所前郵便局
	評価	○ 施設立地数 = 2	○ 施設立地数 = 2	○ 施設立地数 = 1	○ 施設立地数 = 3	◎ 施設立地数 = 4
	各小学校からの距離によるアクセス性	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの距離(旧石狩市で算定) 自動車：3.92km 徒歩：3.86km	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの距離(旧石狩市で算定) 自動車：3.71km 徒歩：3.65km	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの距離(旧石狩市で算定) 自動車：3.69km 徒歩：3.59km	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの距離(旧石狩市で算定) 自動車：3.55km 徒歩：3.50km	学校区別人口数で加重平均した各小学校から建設候補地までの距離(旧石狩市で算定) 自動車：3.89km 徒歩：3.80km
	評価	－候補地の中で、大きな差はない	－候補地の中で、大きな差はない	－候補地の中で、大きな差はない	－候補地の中で、大きな差はない	－候補地の中で、大きな差はない
	最寄バス停への距離	最寄バス停距離(m) 花川北 6 条 1 丁目 約 680m	最寄バス停距離(m) 花川北 6 条 1 丁目 約 330m	最寄バス停距離(m) 花川北 3 条 4 丁目 約 210m	最寄バス停距離(m) 花川北 3 条 1 丁目 約 130m	最寄バス停距離(m) 石狩庁舎前 約 170m
都市計画	バス路線	10 系統(札幌駅、麻生、手稲、宮の沢、栄町方面へ接続)	10 系統(札幌駅、麻生、手稲、宮の沢、栄町方面へ接続)	3 系統(札幌駅、麻生方面へ接続)	7 系統(札幌駅、麻生、手稲、宮の沢、栄町方面へ接続)	14 系統(札幌駅、麻生、手稲、宮の沢、栄町方面へ接続)
	評価	▲運行系統が多いが、バス利用の徒歩圏(300m)より距離がある	○バス利用の徒歩圏(300m)から僅か外れるが、運行系統が多い	○バス利用の徒歩圏(300m)内に立地しているが、運行系統が限られる	◎バス利用の徒歩圏(300m)内に立地しており、運行系統が多い	◎バス利用の徒歩圏(300m)内に立地しており、運行系統が多い
実現性	都市計画・用途地域の指定状況	市街化調整区域	商業地域	第1種中高層住居専用地域	商業地域	商業地域
	評価	▲開発許可が必要な場合がある	○立地可能	▲用途地域の変更が必要	○立地可能	○立地可能
実現性		○プールが使用できない期間なく整備が可能	○プールが使用できない期間なく整備が可能	○プールが使用できない期間なく整備が可能	▲新プール整備時は現石狩市民プールの利用が不可	○プールが使用できない期間なく整備が可能

3-4 今後の方向性について

(1) 想定される事業手法

プール整備における事業手法については、市が施設を設計から建設を行い、指定管理者制度等を活用して民間が運営する「公設民営」のほか、設計から施工、管理運営まで一括して発注する「公設民営（DBO(Design Build Operate)方式）」や「民設民営（PFI(Private Finance Initiative)方式）」といった民間事業者のノウハウ等を生かした事業手法（PPP/PFI）も想定されます。

これら「公設民営（DBO方式）」や「民設民営（PFI方式）」については、施設の維持管理や運営を見据えた設計・施工によるコスト縮減が期待される等、民間事業者の創意工夫が発揮しやすい等の特色を有しています。

一方、PFI方式は民間事業者が金融機関等の融資による資金調達を実施することから、施設整備費等の事業費は割賦払いとなり、財政負担の平準化を図ることが可能となる一方、金利面で有利な地方債や国の補助制度等の活用が出来ないといった制約があります。また、DBO方式に関しては、施設整備に係る資金調達が市であることから、地方債を活用することが可能となりますが、建設時における財政負担が大きくなる側面もあります。

各事業手法それぞれに特徴がありますが、具体的な事業手法の選定については、今後さらに検討を行い決定することとします。

表 主な事業手法

	公設民営(指定管理)	公設民営(DBO方式) DBO:Design Build Operate	民設民営(PFI方式) PFI: Private Finance Initiative
概要	・市が資金調達し、施設の設計、建設、運営、維持管理を民間事業者等に個別に発注する方式。 ・維持管理・運営については、原則単年度契約で業務の一部または全部を民間業者等に委ねる指定管理方式。	・市が資金調達し、施設の設計・建設及び運営・維持管理を一括して民間事業者に委託する方式。	・資金調達から施設の設計・建設及び運営・維持管理を一括して特定目的会社（SPC）に委託することで、民間の資金やノウハウを活用して事業を行う方式。
資金調達	市	市	民間
設計	市	↑ 一括発注 ↓	民間
施工	市		民間
管理運営	民間(指定管理)		民間
施設所有	市	市	BTO※の場合、建設中は民間、建設後に市へ移転 その他に、BOT※、BOO※がある

※BTO…Build－Transfer－Operateの略称。民間が建設（Build）した後、市に所有権移転（Transfer）した上で、民間が管理運営（Operate）を行う。

※BOT…Build－Operate－Transferの略称。民間が建設（Build）し、運営管理（Operate）を行い、事業期間後、市に所有権移転（Transfer）を行う。

※BOO…Build－Own－Operateの略称。民間が建設（Build）した後、民間が所有（Own）したまま運営管理（Operate）を行う。事業期間終了後には解体撤去をするため、市は所有しない。

(2)事業費について

プール整備に係る事業費については、機能性と効率性を重視しながら費用対効果を最大化するため、今後基本計画の検討において導入する機能等を詳細に検討し算出します。

具体的な事業費は、これらの詳細検討を経て、将来の財政運営に影響を及ぼすことがないようプールの規模や財源の検討と合わせて慎重に決定します。

財源については、石狩市の財政運営に有利な地方債制度や国・北海道の各種補助金・交付金制度のほか、公益財団法人 B&G 財団の助成制度の活用可能性について調査・情報収集を行い、これらの制度を積極的に活用します。

石狩市営プール整備基本構想

令和 7 年 6 月

石狩市 健康推進部 スポーツ健康課
〒061-3216 北海道石狩市花川北 6 条 1 丁目 41 番地 1
石狩市総合保健福祉センター「りんくる」
Tel：0133-72-6123
